

第2号議案 平成31年度事業計画ならびに収支予算の設定について(案)

I 平成31年度事業計画

1. 基本方針

国際貿易交渉等をめぐる情勢については、昨年12月30日にTPP11協定、今年2月1日に日EU・EPAの発効に伴う国内需要・価格への影響、日米TAGやRCEP等の交渉について注視するとともに、断固とした姿勢で臨む必要がある。

国内では、平成32年(2020年)に食料・農業・農村基本計画の5年ごとの見直しが予定されている。

かかる情勢の中、我々は引き続き経済連携交渉等の動向を注視し、盟友の将来利益を最優先に運動を展開する。

農協改革については、昨年11月5日に第28回JA山形県大会を開催し、基本目標の実現に向けたさらなる取り組みとその実践を支える盤石なJAの経営基盤の確立を重点課題とした「創造的自己改革の実践」に、組織を挙げて取り組んでいくことが決議された。また、農協改革集中推進期間の期限(平成31年5月)後において、政府からさらなる農協改革が提起されることが懸念される。

これらをふまえ、現場に即したJAの自己改革の遂行に向けて、我々は自らの組織として、大会決議の着実な実践に取り組んでいかななくてはならない。

農産物生産においては、山形県版GAPへの段階的な取り組みや経営改善に向けたGAP手法の導入により、産地全体の底上げを行う必要性が高まっている。

一方、農業生産現場においては、産地の維持・拡大に必要な担い手や労働力不足が深刻化している。

我々青年部盟友は将来の地域農業を担う青年農業者として、これら農業が抱える課題について、JAをよりどころに一致団結して打開していかななくてはならない。

食農教育については、食料自給率の低下や食の乱れが問題視される中、特に、次世代を担う子供たちに、いのちの糧である「食」を育む農業についてより関心を高めてもらうこと、農業と農村の現状を正しく理解してもらうことが求められる。

そのため、我々は引き続き食農教育活動を重点的に実施する。

我々は、今こそ誇り高き青年の情熱と協同の力をもって、よりJAに結集し、JAや女性部等と連携し「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に取り組んで行く必要がある。

また、全青協・ブロック農青協と連携し、自らの組織の強化・活性化に取り組むとともに、地域農業の活性化と農業者が将来に展望の持てる施策の実現を図るため、青年部盟友の英知と行動力を結集して、次に掲げる活動を積極的に展開する。

2. 重点実施事項

- (1) J A 青年部ならびに県青協の活性化対策の検討と実践
- (2) 基本農政の確立と行政施策に意見を反映させる運動の展開
- (3) 食農教育への積極的参画
- (4) 農業経営の確立に向けた学習活動の展開

3. 活動計画

(1) 青年組織基盤強化・活性化に向けた取り組み

J A 青年組織のあり方、事業展開等について十分な論議と実践による組織基盤の確立と J A 青年組織活性化に向け取り組む。

- ① J A 青年組織基盤強化・活性化具体策の検討と実践
- ② 盟友拡大に向けた取り組みと将来の青年組織を担うリーダーの育成
- ③ 単組委員長・事務局合同会議、青年大会など各種発表会の実施
- ④ 県 J A 女性協および東北・北海道ブロック・J A 全青協、J A 県域組織等各関係機関との連携強化
- ⑤ 県内全青年部でのポリシーブック作成に向けた取り組みの展開
- ⑥ 県青協ホームページやソーシャルネットワークワーキングサービス（SNS）を用いた活動の報告・情報の共有化、ならびに広報機能の充実・強化
- ⑦ 県青協 70 周年記念事業に向けた企画の検討

(2) 国民的合意形成運動および政策要求・農政運動の展開に向けた取り組み

農畜産物価格の低迷や、飼料や肥料等の生産資材価格の高止まり等により農業所得が減少する中、食料自給率の向上・再生産可能な環境整備の実現をめざし、農業政策の提言活動や農政運動を展開する。

- ① 経済連携交渉にかかる運動の展開
- ② J A の自己改革にかかる意識共有および理解促進
- ③ 新たな水田農業政策・農地中間管理機構ならびに米価下落等への対応
- ④ 基本農政の確立を求める運動の展開
- ⑤ 県農業施策に意見を反映する活動の展開
- ⑥ 消費者および異業種団体との連携強化
- ⑦ 手作り看板や 1 分間動画の作成による自発意識の向上と消費者への P R 活動
- ⑧ ポリシーブックを活用した政策提言等の実施

(3) 食農教育への取り組み

21 世紀の主演となる子供たちに対して、安全な食と豊かな自然環境を引き継ぐとともに、消費者に対する農業理解および学校教育における農業への理解の促進を図るため、食農教育に積極的に取り組む。

(4) 農業経営の確立にむけた学習活動の展開

J A 青年組織のあり方を検討する中で、農業経営の確立に向けた学習活動を行うとともに、自己啓発をはかる。

- ① 地域農業の中核的役割を担うための研修会・学習活動の実践
- ② 「日本農業新聞」や『地上』等学習資材の購読運動の展開

(5) J A 運営への参画と J A 改革の実践

地域農業・J A 運動の中核的な担い手層のニーズに応える J A づくりに向け、J A 運動強化のための提言活動を展開するとともに、J A 運営への参画を推進する。

- ① J A グループ役職員との意見交換会の開催
- ② J A 運動強化のための提言活動
- ③ 青年部盟友の J A 運営への参画推進

4. 月別年間活動計画

月	県青協	東北・北海道ブロック青協、JA全青協
3	監査委員会 第1回役員会 第69回通常総会・幹部研修会 新旧役員引継会	第7回東北・北海道ブロック委員長・事務局会議 全青協臨時総会（3/13） 第5回都道府県委員長・事務局合同会議（3/13） ポリシーブック総会（3/14） 農林水産省との意見交換会（3/14） 青年理事・組織リーダーJA経営セミナー（3/15）
4	第2回役員会	東北・北海道ブロック通常総会（4/26） 第1回東北・北海道ブロック委員長・事務局会議 （4/26～27）
5	第3回役員会	第66回全青協通常総会（5/22） 第1回都道府県委員長・事務局合同会議 （5/22～23）
6	第4回役員会 第1回単組委員長・部長・事務局合同会議 幹部研修会	
7	第5回役員会	南東北JA青年研修会 第2回都道府県委員長・事務局合同会議 （7月下旬）
8	第6回役員会 山形花笠まつりでのPR活動	
9		全国ポリシーブック研修会（9月上旬）
10	第7回役員会 上半期監査委員会 県農林水産祭（食農教育活動） 手づくり看板コンクール一般投票	
11	県選出国會議員との意見交換会 第8回役員会 JA山形中央会役員との懇談会	JA都道府県青年組織委員長・事務局拡大合 同会議（11/12～13）
12	JA山形県青年大会 第2回単組委員長・部長・事務局合同会議 第9回役員会	
1	第10回役員会	JA青年組織リーダー研修会（1月上旬） 東北・北海道地区JA青年大会（岩手県） （1月中旬）
2	第11回役員会	第4回JA都道府県青年組織委員長・事務局合同 会議（2/18） 第66回JA全国青年大会（2/19～20）
3	監査委員会 第1回役員会 第70回通常総会・幹部研修会	JA全青協臨時総会（3/11） 第5回JA都道府県青年組織委員長・事務局合 同会議（3/11～12） 青年理事・組織リーダーJA経営セミナー （3/13）

Ⅱ 平成31年度 一般会計収支予算書(案)

自 平成31年 3月 1日
至 平成32年(2020年) 2月29日

(収入の部)

(単位：円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	差引 (A - B)	摘 要
会 費	1,033,980	1,103,100	△ 69,120	各青年部から
助 成 金	3,022,300	3,022,300	0	中央会 280,000、農林中金 971,200 全農山形 1,124,000、共済連山形 647,100
雑 収 入	552	447	105	貯金利息等
繰 越 金	1,214,168	979,153	235,015	
合 計	5,271,000	5,105,000	166,000	

(支出の部)

(単位：円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	差引 (A - B)	摘 要
組織強化対策費	2,095,000	1,965,000	130,000	J A全国大会 (3/7)、全国・ブロック会議、 研修会参加費、学習活動等
営農活動推進費	400,000	400,000	0	活動実績・主張発表会費、 手づくり看板コンクール、動画コンクール等
農 政 対 策 費	750,000	800,000	△ 50,000	農政対策、食農教育活動費等
情 宣 活 動 費	20,000	20,000	0	広報活動等
会 議 費	200,000	200,000	0	総会、委員会費、監査委員会費
事 務 費	20,000	20,000	0	送金手数料等
旅 費 ・ 交 通 費	380,000	400,000	△ 20,000	役員会旅費・通信費等
役 員 報 酬	390,000	370,000	20,000	会長 100,000×1名、副会長 50,000×3名 委員 20,000×5名、監査委員 20,000×2名
負 担 金	400,000	420,000	△ 20,000	全青協負担金 ブロック青協負担金
雑 費	10,000	10,000	0	
予 備 費	606,000	500,000	106,000	70周年記念事業予算 (106,000円) を含む
合 計	5,271,000	5,105,000	166,000	

Ⅲ 平成31年度 農政活動資金特別会計収支予算書(案)

自 平成31年 3月 1日
至 平成32年(2020年) 2月29日

(収入の部)

(単位：円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	差引 (A-B)	摘 要
農政活動拠出金	459,160	486,200	△ 27,040	各青年部から
繰 越 金	872,139	860,670	11,469	
合 計	1,331,299	1,346,870	△ 15,571	

(支出の部)

(単位：円)

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	差引 (A-B)	摘 要
行 動 費	1,076,000	1,090,000	△ 14,000	上京運動の行動費等 ※
資 材 費	250,000	250,000	0	諸資材代等
事 務 費	5,000	5,000	0	送金手数料等
雑 費	299	1,870	△ 1,571	
合 計	1,331,299	1,346,870	△ 15,571	

※ 県選出国會議員等との意見交換をはじめ、役員会が必要と認めた「上京運動の行動費等」に充てるものとする。